

# 地域県土警察常任委員会資料

## (令和6年11月29日)

- 「第24回住みよい県土づくり表彰式」について  
【県土総務課・技術企画課】……2ページ
- 鳥取県国土強靱化地域計画(第2期計画)の改定について  
【技術企画課】……6ページ
- 冬期道路交通確保対策会議の開催について  
【道路企画課】……8ページ
- 中海・宍道湖8の字ルート整備推進に係る国土交通省への要望活動について  
【道路企画課】……9ページ
- 中国横断自動車道岡山米子線(蒜山IC～境港間)整備促進総決起大会の開催及び  
国土交通省への要望活動について  
【道路企画課】……10ページ
- 山陰道 北条道路の開通時期見直しについて  
【道路企画課】……11ページ
- 「第2回 米子・境港地域 道路整備勉強会」の開催について  
【道路企画課】……12ページ
- 第15回中海会議の開催結果について  
【河川課】……13ページ
- 鳥取港千代地区に造成した土地の分譲開始について  
【港湾課】……17ページ
- 境港の特定利用港湾の候補選定について  
【港湾課】……18ページ
- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について  
【技術企画課、道路企画課、道路建設課、河川課、治山砂防課、港湾課】……19ページ

県 土 整 備 部

## 「第24回住みよい県土づくり表彰式」について

令和6年11月29日  
 県土総務課  
 技術企画課

県土整備の重要性について広く県民の理解と協力を得るため、令和5年度に完成した県発注工事及び測量等業務のうち、他の模範となる優良建設工事及び優良業務の施工者及び技術者の表彰を行いました。また、民間団体による土木施設の清掃や草刈り等の活動の輪を拡大するため、土木施設愛護ボランティアとして特に貢献のあった団体を併せて表彰したので、報告します。

### 1 表彰式の概要

- (1) 日時・場所 令和6年11月22日(金) 県庁講堂  
 (2) 出席者 各表彰受賞者、副知事、県議会地域県土警察常任委員会常任委員長ほか  
 (3) 主な内容 ア 鳥取県知事表彰(優良建設工事・優良業務施工者、土木施設愛護ボランティア)  
 イ 国土交通大臣表彰者(建設事業関係功労者)披露、同顕彰者(優秀施工者)顕彰披露  
 ウ 鳥取県県土整備部長及び農林水産部長表彰(若手優良技術者、優良下請負業者)

### 2 鳥取県知事表彰受賞者数

区 分	受 賞 者 数
○ 優良建設工事施工者	44者(工事件数:50件)
○ 優良技術者(工事)	55名
○ 優良業務施工者	16者(業務件数:19件)
○ 土木施設愛護ボランティア	5団体

※共同企業体による受賞、重複受賞を踏まえた実質受賞者数

### 3 鳥取県知事表彰受賞者

- (1) 優良建設工事施工者及び優良技術者、優良業務施工者  
 令和5年度に完成した工事および測量等業務の中で他の模範となる工事・業務を施工した業者及び技術者を表彰し、県内建設業者の技術の向上や建設業界の発展に資する。

ア 優良建設工事(土木系工種)・優良技術者(40件(42者))

	発注 機関	業種	工 事 名	施 工 者	技 術 者 名
1	鳥取	土木一般	湖山砂丘地区特定管水路(W-7ブロック2工区)工事	株式会社栗山組	松本 多喜治
2		土木一般	日置川河川改修工事(9工区)(国補正)	株式会社藤原組	藤原 正弥
3		土木一般	七谷地区地域ため池(七谷池)改修工事(2工区)(国補正)	大和建设株式会社	岸本 太
4		塗装一般	県道鳥取国府岩美線(丸塚橋)外橋梁塗装工事(補助橋補修)	山陰東陽化成有限公司 株式会社竹内組	嶋本 勇太 木原 大輔
5		港湾工事	鳥取港第2防波堤改良工事(補助)	YAHATA株式会社	森田 英樹
6		土木一般	史跡青谷上寺地遺跡(指定地南側4工区)整備工事	株式会社藤原組	波賀 隆宏
7		塗装一般	県道鳥取河原用瀬線(中河原橋)外橋梁塗装工事(補助橋補修)	ヤマダ塗装有限公司 株式会社技工社	宮崎 諭 西尾 佑介
8		土木一般	県道網代港岩美停車場線(浦富2工区)改良工事(6工区)(補助交安)	株式会社栗山組	高倉 宏
9		落石防止網工	八葉寺地区復旧治山工事(3工区)	株式会社田中組	吉澤 治美

発注機関	業種	工事名	施工者	技術者名
10	アスファルト	県道麻生国府線舗装補修工事(福地工区)(交付金修繕)	株式会社竹内組	尾崎 亮
11	土木一般	ツツミ谷川及び寺谷川通常砂防工事(補助)	中一建設株式会社	田村 英正
12	土木一般	千代川単県河川改修工事(智頭工区)(1工区)	株式会社谷口工務店	谷口 洋一
13	土木一般	県道河原郡家線(福本工区)通学路安全対策工事(1工区)(補助交安)	株式会社竹内組	竹内 秀彦
14	土木一般	上田川外通常砂防工事(補助)	株式会社大英組	藤森 崇弘
15	土木一般	小目谷川通常砂防工事(交付金)	株式会社谷口工務店	金谷 務
16	土木一般	県道倉吉赤碕中山線外橋梁及び河川災害復旧工事(3年災81号及び148号)	加登脇建設株式会社	森里 昭彦
17	アスファルト	国道313号(小鴨~中河原工区)舗装補修工事(交付金)(国補正)	株式会社伊藤建設	倉長 敏弘
18	アンカー工	三徳地区復旧治山工事(3工区)(国補正)	有限会社若建設工業	岩本 直樹
19	土木一般	大谷川通常砂防工事(4工区)(国補正)	株式会社チュウブ	八幡 祐樹
20	土木一般	北条川放水路改修工事(護岸工)(18工区)	株式会社共栄組	穂久 雄一郎
21	アスファルト	国道431号(福定町外工区)舗装補修工事(2工区)(防災安全交付金)(ゼロ県債)	株式会社エイ・エイチ・エイ	幡原 淳
22	土木一般	祇園町2地区急傾斜地崩壊対策工事(1工区)(交付金)	イワタ建設株式会社	音田 成明
23	アスファルト	県道両三柳西福原線(両三柳工区)舗装補修工事(老朽化対策)	株式会社大協組	志村 博司
24	土木一般	県道米子大山線(尾高橋)橋梁下部工事(P1橋脚)(補助)	平井工業株式会社	橋口 繁次郎
25	塗装一般	国道181号(宗像橋)橋梁塗装工事(補助)	平井工業株式会社	仲田 圭司
26	法面一般	上細見南地区急傾斜地崩壊対策工事(5工区)(交付金)	船越建設株式会社	谷野 素己
27	土木一般	小松谷川河川改修工事(14工区)(防災安全交付金)	イワタ建設株式会社	吉野 建明
28	土木一般	富益地区ほ場整備(1工区)工事	株式会社大協組	池岡 祐介
29	アンカー工	県道大滝白水線(大坂工区)改良工事(4工区)(防災安全交付金)(国補正)	山陰緑化建設株式会社	井上 庸治
30	土木一般	街路両三柳中央線改良工事(9工区)(防災安全交付金)	山陰緑化建設株式会社	當別當 周治
31	土木一般	国道431号(和田町工区)外改良工事(防災安全交付金)	有限会社松本建設	加藤 健司
32	土木一般	小松谷川河川改修工事(12工区)(防災安全交付金)	船越建設株式会社	土山 伸吾
33	土木一般	岡の谷山(3)砂防堰堤工事(交付金)(国補正)	株式会社所子建設	井上 恭一
34	土木一般	名和3期畑かん施設工事(東坪工区外)	株式会社へいせい	大木谷 宏
35	土木一般	県道淀江琴浦線(大名橋)外橋梁補修工事(補助)	株式会社みたこ土建	景山 和己
36	土木一般	米子港外修繕工事	有限会社小倉興産	小倉 志仁
37	土木一般	行者山(赤谷工区)林道開設工事	株式会社平井組	板持 正博
38	土木一般	日野川霞地区河川改修工事(護岸工)	サワタ建設株式会社	原 寿一
39	土木一般	山ノ神谷川砂防堰堤工事(堰堤工)	有限会社住田組	細田 亘
40	土木一般	日の詰川砂防堰堤工事(堰堤工2工区)	株式会社コーセン	山川 純

イ 優良建設工事（建築系工種）・優良技術者（10件（13者））

	発注機関	業種	工事名	施工者	技術者名
10	東部	建築一般	境漁港高度衛生管理型市場整備事業カーニバル上屋増築ほか工事（建築）（1工区）	株式会社リンクス	上田 周志
				境港土建株式会社	新井 揚二
		建築一般	県営住宅和田団地第四期住戸改善工事（53-3棟）（建築）	株式会社井木組	前田 祐治
				株式会社クラエー	絹川 洋之
		管工事	県営住宅和田団地第四期住戸改善工事（53-3棟）（機械設備）	中海工業株式会社	前田 憲隆
		管工事	県立図書館空調用熱源設備改修工事	大和設備株式会社	高木 洋介
		電気工事	栽培漁業センター高圧受変電設備更新工事	株式会社エナテクス	後藤 一希
				株式会社吉備総合電設	倉光 貴宏
		建築一般	（仮称）チュウブ鳥取砂丘こどもの国空気膜構造遊具上屋新築工事	やまこう建設株式会社	松本 佳三
		建築一般	県営住宅材木町団地第二期エコ改善工事（59-1棟）（建築）	YAHATA株式会社	小屋本 健一
10	西部	管工事	消防学校空調設備改修工事（機械設備）	米子ガス産業株式会社	谷川 弘典
		建築一般	（仮称）西部地区原子力防災支援基地新築工事	大松建設株式会社	西尾 毅彦
		電気工事	大山頂上避難小屋太陽光発電設備増設工事（電気設備）	栄和電気工事有限公司	福田 亘

(2) 優良業務施工者

ア 県土整備部発注：土木関係建設コンサルタント部門（9件）

	発注機関	業種	業務名	施工者
1	鳥取	設計	呑谷川大規模更新砂防工事「測量設計及び地質調査業務委託」	アサヒコンサルタント株式会社
		設計	露谷地区予防治山工事「詳細設計及び調査業務委託」	株式会社ジーアイシー
3	中部	設計	県道上大立大栄線（横手工区）改良工事「測量及び橋梁詳細設計業務委託」（補助交安）	西谷技術コンサルタント株式会社
4	米子	設計	県道淀江岸本線（福万～石州府工区）改良工事「測量設計業務委託」（防災安全交付金）（国補正）	シンワ技研コンサルタント株式会社
		設計	上代支川1砂防えん堤工事「測量調査設計業務委託」（国補正）	株式会社エース・プラン
6	日野	設計	日野地区土砂災害防止法基礎調査業務委託（その2）	株式会社荒谷建設コンサルタント鳥取支社
設計		県道岸本江府線（袋原大橋）外橋梁点検業務委託（補助）	株式会社ヨナゴ技研コンサルタント	
設計		県道如来原御机線（御机大橋）外橋梁点検業務委託（補助）	株式会社ワーパス	
9	鳥取港湾	設計	田後港第7防波堤調査設計業務委託（交付金）	株式会社エイト日本技術開発鳥取支店

イ 県土整備部発注：測量・地質・補償関係コンサルタント部門（4件）

	発注機関	業種	業務名	施工者
1	鳥取	測量	佐治川河川災害復旧工事「測量業務委託」	アイコンヤマト株式会社
2	八頭	補償	県道津山智頭八東線（米原～西野工区）改良工事「用地測量調査業務委託」（交付金改良）	西谷技術コンサルタント株式会社
3	中部	補償	県道上大立大栄線（横手工区）通学路安全対策工事「用地調査等業務委託」	ダイニチ技研株式会社
4	米子	補償	長山地区急傾斜地崩壊対策工事「地盤変動影響事後調査業務委託」（交付金）	株式会社アスコ

ウ 県土整備部発注：県外コンサルタント部門（1件）

	発注機関	業種	業務名	施工者
1	鳥取	測量	国道482号外路面性状調査業務委託	西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社鳥取支店

エ 農林水産部発注：土木関係建設コンサルタント・測量・地質・補償関係コンサルタント部門（3件）

	発注機関	業種	業務名	施工者
1	東部	設計	西谷第2地区ため池整備（事業計画策定）業務	株式会社日化技研
2	八頭	設計	林道籠山線（智頭工区）調査測量設計業務委託	アイコンヤマト株式会社
3	西部	設計	中山3期・名和3期地区畑かん付帯施設測量設計業務	シンワ技研コンサルタント株式会社

オ 総務部（営繕課）発注：建築設計部門（1件）

	発注機関	業種	業務名	施工者
1	営繕	建築	鳥取家畜保健衛生所検査棟新築工事に係る実施設計委託	有限会社望月建築設計事務所

カ 総務部（営繕課）発注：設備設計部門（1件）

	発注機関	業種	業務名	施工者
1	営繕	設備	童謡館空調熱源機器改修工事に係る実施設計委託	有限会社福田設備設計

(3) 土木施設愛護ボランティア

安全で美しい環境で人々が生き生きと暮らせるよう、清掃や草刈り等の活動に貢献したボランティア団体を表彰し、その活動の輪の一層の拡大を促進する。

	団体名	管内	主な活動場所
1	尾長区 (区長 櫻井 純一)	中部	湯梨浜町門田地内 一般県道長和田羽合線、二級河川埴見川
2	橋津区環境ボランティア (区長 松井 正典)	中部	湯梨浜町橋津地内 二級河川橋津川
3	松崎地区クリーンアップ協議会 (会長 竹歳 弘道)	中部	湯梨浜町龍島地内 主要地方道倉吉青谷線
4	徳長区 (区長 岡 秀行)	米子	南部町徳長地内 一級河川日野川水系山田谷川、一般県道西伯伯太線
5	山王振興協議会 (会長 福安 道則)	鳥取	佐治町尾際、中、栃原地内 一般国道482号、一級河川佐治川

4 国土交通大臣表彰（顕彰）

(1) 建設事業関係功労者等表彰

建設事業に携わる個人又は団体に対し、他の模範として推奨に値する者を表彰して功労を称える。

	所 属	氏 名
1	株式会社井木組代表取締役 ((元) 一般社団法人鳥取県建設業協会会長)	井木 敏晴
2	有限会社松澤組代表取締役 ((元) 一般社団法人鳥取県土木施工管理技士会副会長)	松澤 弘一

(2) 優秀施工者（建設マスター）国土交通大臣顕彰

国土交通大臣が、特に優秀な技能等を持ち後進の指導・育成等に貢献している建設技能者を顕彰することにより、「ものづくり」に携わる方の誇りと意欲を増進させ、その社会的評価の向上を図る。

	所 属	氏 名
1	株式会社 井中組	柴田 鉄也
2	株式会社 かわばた	南波 和也
3	株式会社 井木組	宮田 浩

# 鳥取県国土強靱化地域計画（第2期計画）の改定について

令和6年11月29日  
技術企画課

令和6年10月18日に第3回鳥取県国土強靱化推進評価会議（有識者会議）を開催し、有識者の意見や近年の大規模自然災害発生等の情勢変化を踏まえて作成した「鳥取県国土強靱化地域計画（第2期計画）改定案」について了解を得ましたので報告します。

## 1 評価会議（有識者会議）での検討経過

- 第1回 令和6年5月28日 第2期計画策定後の情勢変化の確認、KPIの中間評価
- 第2回 令和6年8月6日 情勢変化を踏まえて今後の計画改定で盛り込むべき課題の確認、このうち早急に取り組むべき課題と施策の内容の確認
- 第3回 令和6年10月18日 第2期計画改定案の審議

## 2 第2期計画の改定方針

○第2期計画策定（R3年3月）以降の情勢変化で得られた教訓等（下記①～⑥）を踏まえ、人的被害等を防ぐため早急に取り組むべきものは、第2期計画を改定し反映させる。

- ①近年の災害発生状況
- ②災害激甚化を踏まえた防災機能向上調査事業の検討結果（主に令和5年度台風第7号被害を踏まえた検討）  
[主な提言]ダム情報の発信などの強化、佐治川流域のインフラ機能の強化が必要
- ③「県・市町村防災対策研究会」、「鳥取県防災顧問会議」の検討結果（主に能登半島地震を踏まえた検討）  
[主な提言]能登半島地震の教訓を踏まえた震災対策の強化が必要
- ④鳥取県版第3期総合戦略「輝く鳥取創造総合戦略(R6年3月)」との調和  
[主な提言]能登半島地震の教訓を踏まえた震災対策の強化、デジタル技術活用の推進が必要
- ⑤「国土強靱化基本計画(R5年7月改訂)との調和  
[主な提言]デジタル等新技术の活用による国土強靱化施策の高度化が必要
- ⑥重要業績指標：KPI中間評価の結果  
[評価概要]全体的に概ね順調に進捗している。  
住宅の耐震化等、住民主体の地域防災力強化に係る取組の進捗が遅く、更なる取組促進が必要である。

○現計画の基本的な構成は変更せず、情勢変化を踏まえた脆弱性評価や施策の追加・修正のみを行う。

## 3 第2期計画改定で盛り込む施策のポイント

- <ポイント1> 近年の県内災害や能登地震の教訓を踏まえた、「災害発生時及び直後」に資する施策の強化
  - ・水位計やカメラの設置による沿岸の監視機能強化（津波対策）
  - ・孤立集落発生への備えの強化
  - ・避難所の対策、災害関連死の防止
- <ポイント2> デジタル技術の活用による災害発生時の情報収集・伝達などの体制の強化
  - ・鳥取県防災情報ポータル、鳥取県総合防災情報システムによる各種防災情報の集約発信
  - ・施策横断的分野に「デジタル活用分野」を追加
- <ポイント3> 中間評価で進捗が低かった「住民の主体的な取組」の促進
  - ・耐震ケースマネジメントの実施、住宅耐震の安価な改修工法の普及

## 4 第2期計画改定で盛り込む施策、KPI（目標別）

次項の一覧表参照

## 5 その他

改定版はホームページで公表するとともに、市町村が作成する強靱化地域計画との調整を図る。

<参考：令和6年度鳥取県国土強靱化推進評価会議委員名簿>

分野	氏名	役職等	備考
行政	森山 武	鳥取市危機管理部 部長	
〃	金田 茂之	大山町総務課 課長	
住宅・都市・環境	南波 一好	鳥取県建築士会理事	
保健医療・福祉	田中 響	鳥取看護大学教授	
エネルギー	真島 和人	中国電力(株)鳥取支社総務グループマネージャー	
産業・金融	倉光 千浪	倉吉商工会議所女性会	
情報通信	定道 正代	NHK鳥取放送局副局長	
物流	山崎 隆志	一般社団法人鳥取県トラック協会専務理事	
農業	八木 雅人	鳥取県農業協同組合中央会 JA支援本部経営支援部統括部長	
国土保全・交通	裕見 吉晴	鳥取大学 特任教員	座長

【一覧表】 今回改定で盛り込む目標別の追加施策およびKPI（目標別）

施策の概要		KPI	改定時 (R5末)	目標 (R7末)	計画上の 時間軸
<b>目標1 直接死を最大限防ぐ</b>					
住宅耐震化	・耐震ケースマネジメントの実施 ・耐震対策の低コスト化及び普及啓発	専門家派遣及び建築士同伴での戸別訪問実施件数	0件	240件	災害発生時
津波対策	・水位計や監視カメラの設置による沿岸監視機能の強化	津波の影響を監視するカメラの改修数及び新設数	0基	改修2基 新設4基	
		津波の影響を監視する水位計改修数及び新設数	0基	改修2基 新設1基	
情報発信	・ダム情報の確実な伝達体制の構築 ・鳥取県防災情報ポータルによる各種防災情報の集約発信	震災津波に関する講演会等の開催回数(県主催)	2回/年	1回/年	
		KPIなし			
<b>目標2 救助・救援、医療活動の迅速な対応、被災者等の健康・避難生活環境の確保</b>					
物資供給	・孤立状態が長期化することを想定した備蓄の充実 ・自主避難所への物資や情報の提供等の支援強化 ・ドローンを活用した物資輸送手段の確保 ・物資輸送拠点での効率的な物資在庫管理を行う体制整備(物流専門家の派遣要請)	KPIなし			災害発生直後
孤立集落対策	・衛星通信設備の整備による情報通信機能の確保 ・倒木による停電や通信障害、孤立集落の発生を未然に防止する危険木の事前伐採の推進 ・孤立可能性集落毎の対応方針を定めたカルテ作成	非常時通信設備整備数 孤立可能性集落対応カルテ作成数	0台 0集落	5台 孤立可能性集落全部	
救助・救援活動	・自衛隊等の実動組織と連携して迅速な対応が実施できるよう、大型ヘリ等の乗降適地の地点調査	KPIなし			
医療・福祉機能	・保健医療福祉対策統合本部による、円滑な応援要請や受援体制、情報集体制の確保 ・被災地への DWAT(災害派遣福祉チーム)チーム員の増員	DWAT(災害派遣福祉チーム)チーム員の増員	183人	協定団体等との協議により決定	
避難生活環境の確保	・災害関連死を防止するため、避難所の生活環境の向上を図る。	避難所のWi-Fi環境整備	68.8%	84%(R9)	
		県営避難所確保数	0箇所	3箇所	
		県営避難所訓練実施回数	0回/年	1回/年	
		トイレカー整備台数	0台	3台	
避難所備蓄	・輸送道路が寸断されることを想定した、避難所の中、あるいは地域の中での備蓄の検討	KPIなし			
<b>目標3 行政機能の確保</b>					
	・市町村圏域を越えた大規模災害時、広域応援や救援物資の受入れ、また救援物資の中継・配送の拠点となる広域防災拠点施設の指定	KPIなし			
	・総合防災情報システムの構築(広島県との共同構築)	KPIなし			
<b>目標4 情報通信機能の確保</b>					
<b>目標5 地域経済活動の維持</b>					
港湾・鉄道機能の強化	・主要港への監視カメラの新設により、地震津波発生時の監視強化を図る。	KPIなし			
<b>目標6 ライフラインの確保及び早期復旧</b>					
上下水道等の復旧	・液状化対策の最新技術を積極的に導入 ・組立式給水タンクの備蓄による応急給水効率の向上 ・避難所等の重要施設に繋がる主要管路の優先的な耐震化	広域応急給水支援、復旧支援を行うための市町村合同訓練の実施	0回/年	1回/年	復旧
大規模火災、広域複合火災	・大規模火災の発生に備え、初期消火活動で有効な消防団や自主防災組織の充実強化を図る。	KPIなし			
<b>目標7 二次災害の防止</b>					
大量の災害廃棄物	・状況変化や近年の災害で判明した課題を踏まえた、県災害廃棄物処理計画の見直し ・市町村災害廃棄物処理計画の策定や訓練の支援により、計画の実効性を高める。	KPIなし			復興
<b>横断的分野⑤ 人材育成分野</b>					
・被災箇所の状況把握等にドローンによる調査を実施するため、官民連携の「ドローンレスキューユニット」を設置し、ドローンを操作できる人材を育成					
<b>横断的分野⑦ デジタル活用分野</b>					
・安心安全な生活環境を維持するために防災DXを推進し、災害対応の高度化と効率化を図ると共に、災害情報の的確な把握・共有を推進するなど、「誰一人取り残さない」ことを理念に置いた情報の発信を推進する。 ・鳥取県防災アプリ(あんしんトリピーなび)、総合防災情報システム(広島県との共同構築)のデジタル媒体の活用推進					

※目標は災害発生から復興に至るまでの段階（フェーズ）ごとに整理し、時間軸を持たせている。

# 冬期道路交通確保対策会議の開催について

令和6年11月29日  
道路企画課

冬期の大雪等の異常気象等による主要幹線道路の不通や交通渋滞などの事態を回避するための対策を検討し、併せて関係機関との連携体制の構築を目的とした冬期道路交通確保会議を開催しました。

大雪時においても安定した道路交通の確保が図れるよう関係機関と連携し、除雪体制を整えるとともに、県民の皆様に除雪作業への御理解・御協力を呼びかけていきます。

1 日 時 令和6年11月18日（月） 午後2時～

2 出席者 委員長：国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所長  
委 員：国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所・岡山国道事務所  
鳥取県県土整備部、危機管理部、鳥取県土整備事務所、八頭県土整備事務所  
岡山県、市町村（鳥取市・智頭町ほか）、警察（県警本部・各警察署）  
NEXCO西日本 ほか

## 3 確認事項

### (1) 情報提供、広報活動の実施

- ① 大雪時の広域迂回、不要不急の外出自粛の呼びかけ  
近畿・九州地方整備局、NEXCO西日本とも連携し、道路情報板、記者発表、ホームページ、SNS等を用いた情報提供を行う。
- ② 冬用タイヤ早期装着に向けた啓発活動の実施
- ③ トラック協会等への協力要請、降雪時の冬用タイヤ・チェーン等の装着指導の実施

### (2) 集中除雪区間の設定

- ① 大雪時に大型車両のスタックによる通行止めが発生しやすい区間を集中除雪区間として設定し、重点的に除雪を行う。（重点除雪）
- ② 降雪が激しく、平行する路線の一方が通行止めの可能性が高まった場合、一方を通行止めして集中除雪し、除雪完了後早期に交通開放を行う。（集中除雪）

### (3) 集中除雪タイムライン

大規模な滞留車両が発生する前に迅速な集中除雪のための通行止めを実施する場合は、県災害対策本部と連携し、路線ごとに判断する。

### (4) 国道9号の冬用タイヤチェック

山陰道で通行止めを実施した場合、並走する国道9号側で冬用タイヤチェックを実施し、国道9号側でのスタック発生を防止する。

### (5) 鳥取道の通行止めに伴う国道373号への車両流入抑制

令和5年1月24日の豪雪による国道373号で発生した車両滞留を受けて、鳥取道が通行止めとなり、国道373号の安全な走行も確保できない場合は、鳥取道と併せて国道373号志戸坂トンネルも通行止めとすることを確認。（鳥取県側、岡山県側に交通誘導員を配置して、迂回路に誘導）

### (6) トイレカーの導入

スタックを起因とする車両滞留発生時、移動トイレ（仮設トイレを載せた軽トラック）を現地に派遣する。

## 4 その他

本会議のほか、山陰道・国道9号・米子道等についても、山陰道・国道9号道路交通確保対策関係者会議（令和6年11月1日開催）、米子自動車道沿線交通確保対策会議（令和6年11月1日開催）等において、冬期道路交通確保に向けての関係機関の連携確認を行った。

# 中海・宍道湖8の字ルート整備推進に係る国土交通省への要望活動について

令和6年11月29日  
道路企画課

中海・宍道湖8の字ルートの早期整備について、中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議<sup>※</sup>及び島根県等と合同で令和6年11月13日に要望活動を実施しましたので、その概要を報告します。

## ※中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議とは

中海・宍道湖・大山圏城市長会が中心となって設立した団体。山陰自動車道、米子・境港間の高規格道路、境港出雲道路など中海と宍道湖を介して8の字につながる高規格道路の整備推進団体と連携し、沿線の地方創生に寄与するとともに、圏域内におけるミッシングリンクの解消を図るため、中海・宍道湖8の字ルートを早期に整備することを目的とする。

## 1 要望先

国土交通省 佐々木 俊一 道路局次長  
国土交通省 吉岡 幹夫 事務次官

## 2 要望者

鳥取県 知事 平井 伸治  
島根県 知事 丸山 達也  
松江市 市長 上定 昭仁 (中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議会長、境港出雲道路(松江北道路)建設促進期成同盟会会長)  
米子市 市長 伊木 隆司 (中国横断自動車道岡山米子線(蒜山IC～境港間)整備促進期成同盟会会長)  
出雲市 市長 飯塚 俊之 (出雲・美保関間幹線道路整備促進期成同盟会会長)  
境港市 市長 伊達 憲太郎  
安来市 副市長 大久佐 明夫  
境港市議会 議長 永井 章  
松江商工会議所 会頭 田部 長右衛門  
中国横断自動車道岡山米子線整備促進鳥取県議会議員連盟 会長 斉木 正一 (鳥取県議会議員)  
境港出雲道路整備促進松江市議会議員連盟 会長 南波 巖 (松江市議会議員)  
" 副会長 森脇 勇人 ( " )  
" 副会長 柳原 治 ( " )  
" 幹事 川島 光雅 ( " )  
出雲市議会境港出雲道路整備促進議員連盟 副会長 板垣 成二 (出雲市議会議員)

## 3 主な要望内容

- ・中海・宍道湖8の字ルートの整備推進について
  - ▶ 米子・境港間を結ぶ高規格道路の早期事業化
  - ▶ 高規格道路「境港出雲道路」の早期整備の推進
  - ▶ 山陰道の整備及び機能強化の推進
- ・地方創生推進の礎となる高規格道路ネットワークの整備に係る予算確保について

## 4 発言要旨

### <佐々木道路局次長>

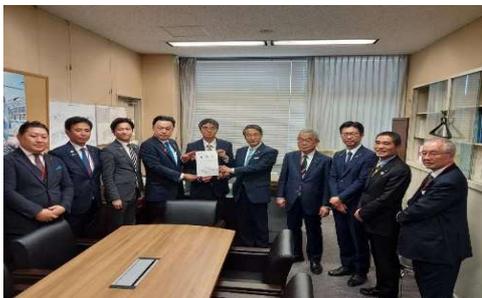
- ・今年22日に「米子・境港地域 道路整備勉強会」が予定されており、計画の具体化に向けて動いている。
- ・着実に前に進められるよう頑張りたい。

### <吉岡事務次官>

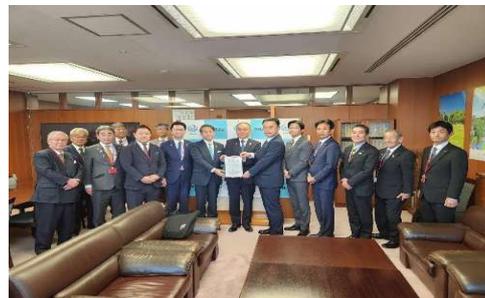
- ・8の字ルートは、観光や地域振興、原発避難路等、重要な役割を担う道路と認識している。
- ・特に、米子・境港間の高規格道路は次のステップを考えていきたい。
- ・ルートについても関係者とよく調整して考えなくてはならない。
- ・地元にも協力をお願いし、連携して進めていきたい。

## 5 要望時の様子

【佐々木道路局次長】



【吉岡事務次官】



# 中国横断自動車道岡山米子線(蒜山 I C～境港間)整備促進総決起大会の開催 及び 国土交通省への要望活動 について

令和6年11月29日  
道路企画課

米子・境港間の高規格道路の早期事業化と中国横断自動車道岡山米子線の4車線化事業箇所を早期供用を国へ訴えかけるため、県と中国横断自動車道岡山米子線(蒜山 I C～境港間)整備促進期成同盟会(会長：米子市長)主催による総決起大会を開催しました。

あわせて、国土交通省へ要望活動を実施しましたので、その概要を報告します。



## 1 大会の概要

- 日 時： 令和6年11月14日(木) 午前10時30分～11時30分  
場 所： 海運クラブ2階 ホール(東京都千代田区平河町)  
主 催： 鳥取県、中国横断自動車道岡山米子線(蒜山 I C～米子間)整備促進期成同盟会  
共 催： 中国横断自動車道岡山米子線(蒜山 I C～境港間)整備促進鳥取県議会議員連盟  
齊木会長、安田副会長、浜田(一)幹事長、野坂幹事、前原幹事 計5名  
中国横断自動車道岡山米子線全線4車線化促進市議会連盟、鳥取県西部地域振興協議会、  
中海・宍道湖・大山圏域市長会、境港管理組合議会、  
米子・境港間を結ぶ高規格道路建設推進議員連盟、中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議  
主な来賓： 国 会 議 員：舞立参議院議員、藤井参議院議員  
国 土 交 通 省：山本道路局長、小林道路局企画課長、門間中国地方整備局道路部長  
NEXCO西日本：小笹取締役常務執行役員、赤松中国支社長  
会 員： 平井知事、伊木市長(会長)ほか県西部自治体の首長・議長、鳥取県西部経済団体等  
計約80名

## 2 主な発言要旨

舞立 参議院議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共事業予算の増額、物価高・経済対策を含めて、国民の元気が出るような形にしないといけない。</li> <li>皆様と一緒に頑張って取り組んでいきたい。</li> </ul>
藤井 参議院議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Where there is a will, there is a way」 意志さえあれば道は開ける。</li> <li>全力を尽くして頑張っていく。</li> </ul>
山本 国土交通省 道路局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>今月22日に「米子・境港地域 道路整備勉強会」を開催し、一定のとりまとめがなされる予定</li> <li>これを足掛かりに、<u>次の段階に進めていけるよう努力していきたい。</u></li> <li>予算確保に向けて、引き続きご支援をいただきたい。</li> </ul>
清水 境港商工会議所 運輸通信業部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>高規格道路により、あらゆる業種の人手不足が改善され、効率化・生産性向上に寄与する。</li> <li>能登半島地震の経験からも、大規模災害発生時のネットワークの確保が必要</li> </ul>
岡本 米子商工会議所 青年部会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>高規格道路の整備は、今後の人口減少社会において地域経済を発展させる起爆剤</li> <li>山陰の発展に欠くことのできない基礎的な社会基盤であり、圏域の発展に向けて努力していきたい。</li> </ul>

## 3 国土交通省への要望活動

同日、廣瀬昌由技監に米子・境港間高規格道路の早期事業化等について要望活動を実施した。

日 時： 令和6年11月14日(木) 午前10時05分～10時15分

場 所： 国土交通省4階技監室

- 主な発言：
- 石破政権下において、地方創生が重要政策として取り組まれている。
  - 能登半島地震の経験から、半島における高規格道路の重要性を再認識した。
  - 8の字圏域には空港が2つあり、これを繋ぐ効果も大きい。
  - 長期的な視点を持って、連携した取組を進めていきたい。

# 山陰道 北条道路の開通時期見直しについて

令和6年11月29日  
道路企画課

令和8年度開通予定の北条道路について、地中障害物発見・調査に伴い開通時期の見直しが行われましたので、概要を報告します。

## 1 事業の概要

北条道路（延長 13.5 km）は、山陰道県内区間のうち唯一の未供用区間として平成 29 年度に事業着手した。北条道路の整備により、通過交通と生活交通が分離されることによる安全性の向上や、中部地域の観光の活性化、企業進出、医療機関へのアクセス性向上に寄与することが期待されている。

## 2 見直しの原因・内容

国交省は、現在軟弱地盤対策等を実施しているが、北条 I C 以西において地中障害物が数多く発見されたため、その調査・把握を進めている。

地中障害物は、現況地盤からかなり深い位置からも出現しており、調査・把握後の撤去作業にも時間を要することが想定されることから、以下のとおり開通時期の見直しが行われた。

▼11月11日(月)：国交省倉吉河川国道事務所記者発表

- 《見直し前》はわい IC ~ 大栄東伯 IC 令和8年度開通予定
- 《見直し後》はわい IC ~ 北条 IC 令和8年度開通予定※  
北条 IC ~ 大栄東伯 IC 工程精査中

※ 埋蔵文化財調査及び大規模橋梁工事・軟弱地盤対策工事が順調に進捗した場合

### 位置図



### 地中障害物の調査状況



## 3 今後

北条 IC ~ 大栄東伯 IC の開通が遅れることは大変残念だが、はわい IC ~ 北条 IC の令和 8 年度の供用を確実に実現するとともに、様々な効果が期待される山陰道の県内区間全線開通に向けて、引き続き国に強く働きかけていく。

## 「第2回 米子・境港地域 道路整備勉強会」の開催について

令和6年11月29日  
道路企画課

米子・境港間の高規格道路の計画の具体化に向け、第2回目の勉強会を開催しましたので報告します。

1 日 時 令和6年11月22日（金） 午前9時30分～10時45分

### 2 勉強会の委員

国土交通省中国地方整備局：道路部道路計画課長、倉吉河川国道事務所長、  
鳥取県：県土整備部長、米子市：都市整備部長、境港市：建設部長、日吉津村：建設産業課長

### 3 内 容

- ▶ 第1回目の勉強会において、中国横断自動車道岡山米子線のうち、米子～米子北間が「当面着工しない」とされた平成18年度以降の社会情勢の変化や地域・交通の課題について整理した。
- ▶ 第1回目の勉強会を踏まえ、今回は「高規格道路の必要性」や「ルート検討上配慮すべき事項」等について、検討・整理した内容を報告し意見交換を行った。
- ▶ その結果、「地域の将来像を実現するためには、米子・境港間の高規格道路が必要」であることが明確に整理された。

#### 〈報 告〉

##### ▶国 …『高規格ネットワークの必要性』

- ・米子・境港間に求められる機能として、「産業の活性化」「信頼性の高いネットワーク」「広域周遊観光の促進」「救急医療機関への速達性の向上」「交通安全の確保」が挙げられる。
- ・現況の課題を解決し求められる機能を確保するためには、高規格道路ネットワークが必要である。

##### ▶県 …『高規格道路の必要性』

- ・「米子・境港地域がもつ特色やポテンシャルを活かし、活力あるまちを目指す」という地域の将来像を実現するため、米子・境港間における高規格道路は必要不可欠である。

##### ▶米子市・境港市・日吉津村 …『ルート検討上配慮すべき事項』

- ・米子市…米子駅周辺の中心市街地や皆生海岸などの観光レクリエーション拠点への支障、けやき並木や水鳥公園周辺への環境負荷、農業振興地域への影響
- ・境港市…米子鬼太郎空港への影響、工業団地への影響、農業振興地域への影響
- ・日吉津村…地区拠点への影響、工場や商業・沿道サービス施設等が集積しておりそれらへの影響

#### 〈主な発言〉

▶県	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 米子・境港地域は、鳥根県東部と経済的にも結びつきが強く、米子鬼太郎空港、境港は物流・人流の起終点として圏域全体の拠点となっている。</li> <li>✓ 米子・境港間の高規格道路は、8の字ルートの一部を担う重要な道路であり、弓ヶ浜半島だけでなく周辺地域にも効果が及ぶ観点からも検討を進めていくべき。</li> </ul>
▶米子市	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 能登半島地震を受けて災害に強い道路が必要であることを再認識した。</li> <li>✓ 加えて時間短縮効果や観光にも寄与する道路になると認識している。</li> <li>✓ 周遊性が向上すれば、時間的な余裕から訪問先が増えるなどのメリットもある。</li> </ul>
▶境港市	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高規格道路の必要性を確認できた。8の字ルートの整備にも繋がる。</li> </ul>
▶日吉津村	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高規格道路の整備は地方創生にも繋がる。</li> <li>✓ 製紙工場の物流改善が大きな課題であり、解決には高規格道路は必要不可欠である。</li> </ul>
▶国	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 平成18年の整備計画変更以後、様々な議論がされてきたが、特に防災面が最も変化している。過去の災害を教訓に、強靱化・多重化された防災の観点でのまちづくりが必要である。</li> <li>✓ <u>社会情勢の変化や地域・交通の課題を確認でき、米子・境港間の高規格道路の必要性が改めて確認できた。また、ルートを決めていく中で、配慮しなければいけない事項も確認でき、本勉強会として一定のとりまとめができた。</u></li> <li>✓ 引き続き連携しながら議論・検討を進めたい。</li> </ul>

### 4 今 後

- ・米子・境港間の高規格道路は、中国横断自動車道岡山米子線の最後の未整備区間であるとともに、中海・宍道湖圏域の発展に不可欠な8の字ルートの一部を形成するものである。
- ・勉強会で整理した結果を踏まえ、早期事業化に向け次のステップである計画段階評価着手に進むよう、国へ強く働きかけていく。

## 第15回中海会議の開催結果について

令和6年11月29日  
総合統括課  
水環境保全課  
農地・水保全課  
水産振興課  
河川課

中海に関する諸問題を協議検討する第15回中海会議を、以下のとおり開催しました。

- 1 日時 令和6年11月18日（月）午前10時30分から正午まで
- 2 場所 米子ワシントンホテルプラザ
- 3 出席者 国土交通省中国地方整備局長、農林水産省中国四国農政局長、鳥取県知事、島根県知事、米子市長、境港市長、松江市長、安来市副市長 <オブザーバー>環境省中国四国地方環境事務所長、防衛省航空自衛隊美保基地司令

### 4 概要

#### (1) 中海及び境水道の堤防、護岸等の整備について

- 大橋川拡幅の前段階で湖岸堤を先行するという手順どおりに整備が進められていることが報告、確認された。
  - 令和6年4月1日から中海の水防警報発表の基準水位を変更したことが報告された。（水防団待機水位の0.05m引き上げなど）
- ⇒できるだけ前倒しでの湖岸堤整備、中海の潮位上昇による湖岸堤整備への影響の検証、樋門操作の省力化を求める意見があり、引き続き関係機関において取り組むこととされた。

#### (2) 中海の水質及び流動について

- 令和5年度の水質状況、中海の水質改善に向けた流入負荷・湖内対策に関する研究結果が報告された。
  - 中海の水質は、下水道整備などにより長期的には改善傾向にあり、多くの環境基準点で第7期湖沼水質保全計画で定めた水質目標値は達成しているものの、未だ環境基準の達成には至っていないため、令和6年度中に策定する第8期計画において、引き続き各種水質保全対策に取り組んでいくことが確認された。
- ⇒覆砂や浅場・藻場の造成による水質改善、水質浄化技術の調査研究、大橋川拡幅による宍道湖からの流入量の変化が水質に与える影響についてのモニタリングを求める意見があり、引き続き水質モニタリングの実施・結果の分析、調査研究を行うこととされた。

#### (3) 中海沿岸農地の排水不良について

- 農地嵩上げにより、排水不良に対する一定の効果が確認されたことについて報告された。
- 本年度をもってモデル地区ほ場の嵩上げが完了し、また、排水不良解消に向けた対策手法が概ね確立されたことなどを踏まえ、中海会議におけるWG（ワーキンググループ）としては一定の役割を終えた旨の総括が行われた。

#### (4) 中海の利活用について

- 漁業権が設定されたサルボウガイの養殖など、利活用（ワイズユース）の事例について報告された。
  - 各団体の主体的な取組が継続し、より広域な連携等の新たな取組も展開されていることを踏まえ、中海会議におけるWGとしては一定の役割を終えた旨の総括が行われた。
- ⇒引き続き取り組むべき課題については、中海会議以外の場も働かせて、関係機関で連携して取り組むこととされた。

#### (5) 中海会議の見直しについて

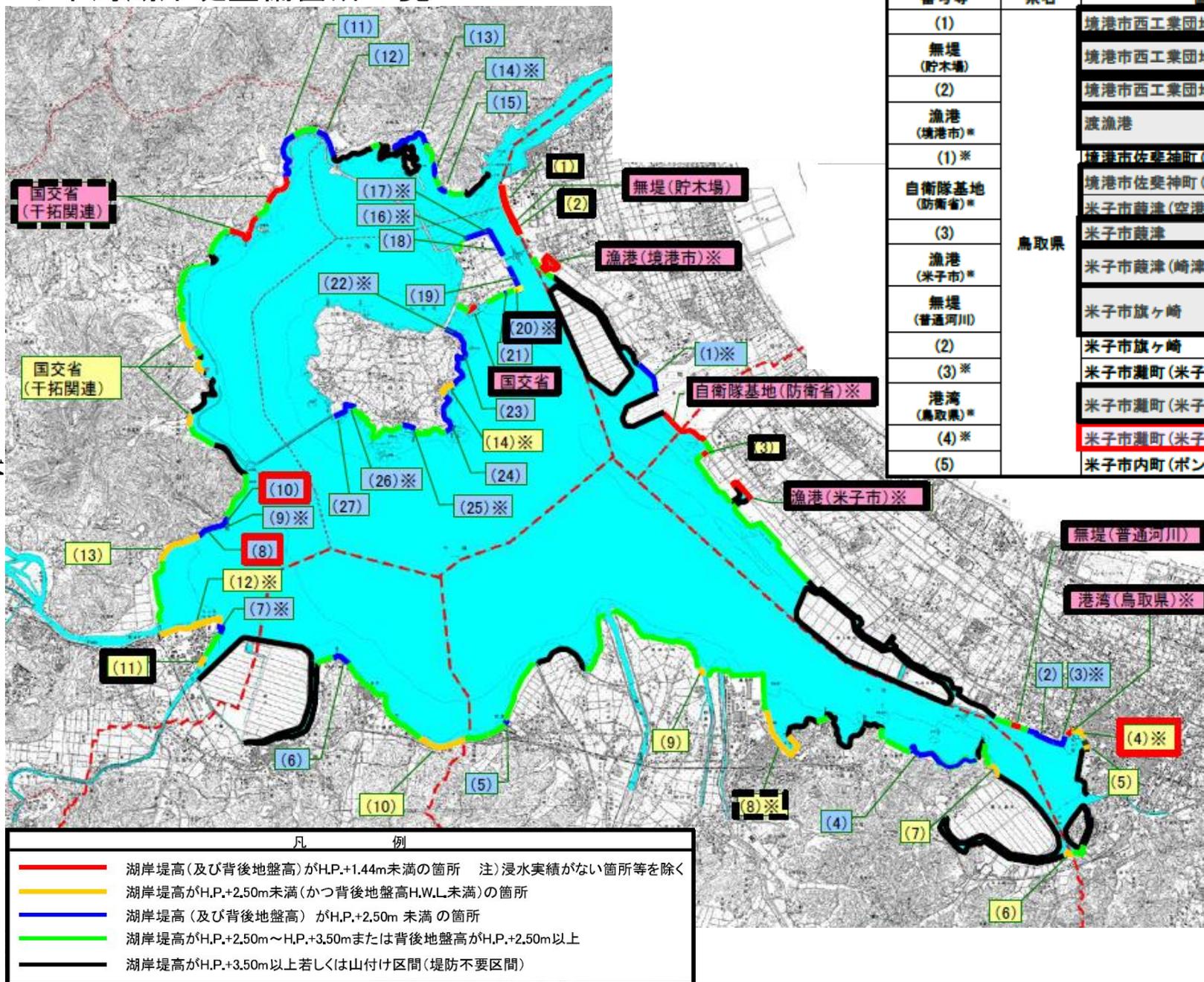
- (3)及び(4)の報告を踏まえ、両WGは廃止することとし、今後は湖岸堤等整備・水質問題に絞り込んでより重点的に協議検討を行う旨の中海会議設置要綱の改正案が事務局から提案され、了承された。

#### (参考) 中海会議とは

平成21年12月19日に締結された鳥取、島根両県知事の協定書に基づき、関係機関が共同して、未来に向かってより良い中海圏域を築くため、中海の水に関する諸問題を協議検討する場として、平成22年4月22日に設置した会議。

- ※個別課題の検討・調整を行うため、
- |                  |               |
|------------------|---------------|
| ①中海湖岸堤等整備に係る調整会議 | ②中海の水質及び流動会議  |
| ③中海沿岸農地排水不良WG    | ④中海の利活用に関するWG |
- 4つの部会等を設置。

# ◆中海湖岸堤整備箇所一覽



番号等	県名	箇所名	延長	優先順位
(1)	鳥取県	境港市西工業団地(貯木場北)	1,200m	II ①
無堤(貯木場)		境港市西工業団地(貯木場)	20m	I
(2)		境港市西工業団地(貯木場南)	400m	II ①
漁港(境港市)※		波漁港	700m	I
(1)※		境港市佐妻神町(空港北)	800m	II ②
自衛隊基地(防衛省)※		境港市佐妻神町(空港南)	500m	I
		米子市葦津(空港南)	500m	I
(3)		米子市葦津	100m	II ①
漁港(米子市)※		米子市葦津(崎津漁港)	400m	I
		米子市旗ヶ崎	30m	I
(2)		米子市旗ヶ崎	500m	II ②
(3)※		米子市灘町(米子港 野積場)	800m	II ②
港湾(鳥取県)※		米子市灘町(米子港 食品団地)	100m	I
		米子市灘町(米子港 防波堤)	600m	II ①
(4)※		米子市内町(ポンプ場前)	40m	II ①

**凡例**

完成 [ ] 暫定完 [ ] 事業中

整備目標: I  
短期整備箇所

整備目標: II ①  
短中期整備箇所

整備目標: II ②  
中期整備箇所

河川課補足資料

# 1 令和5年度環境基準・水質目標値達成状況等について

○中海の水質については、第7期湖沼水質保全計画（R1～R5）の目標値に対して、令和5年度は全環境基準点（12地点）のうち10地点でCOD、全窒素、全りんのもの三項目とも目標値を達成し、長期的に改善傾向。

図1-1 中海の環境基準点の位置図

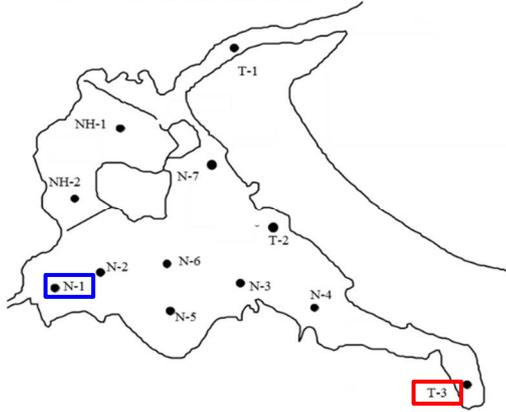
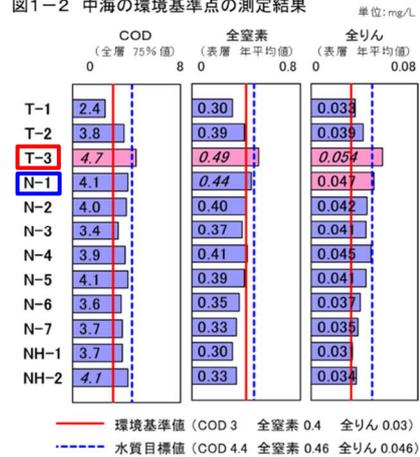
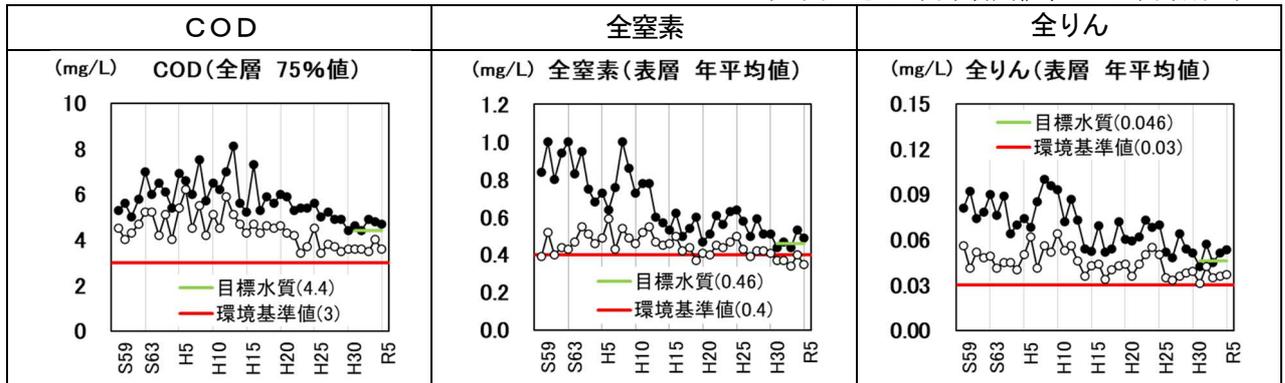


図1-2 中海の環境基準点の測定結果



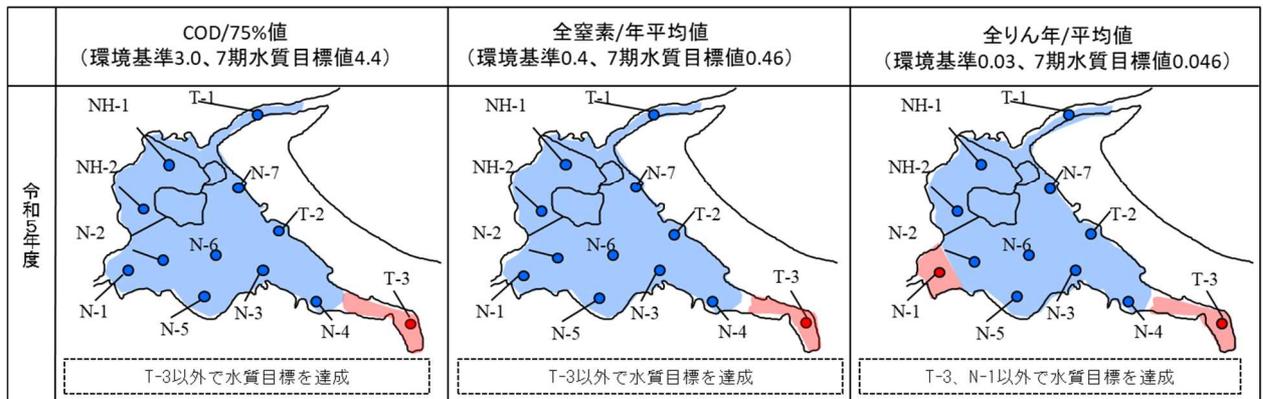
(参考1) 経年変化（中海湖心（N-6）と各年度において最も高い地点の傾向分析）

(凡例 ●：中海最高値、○：中海湖心)



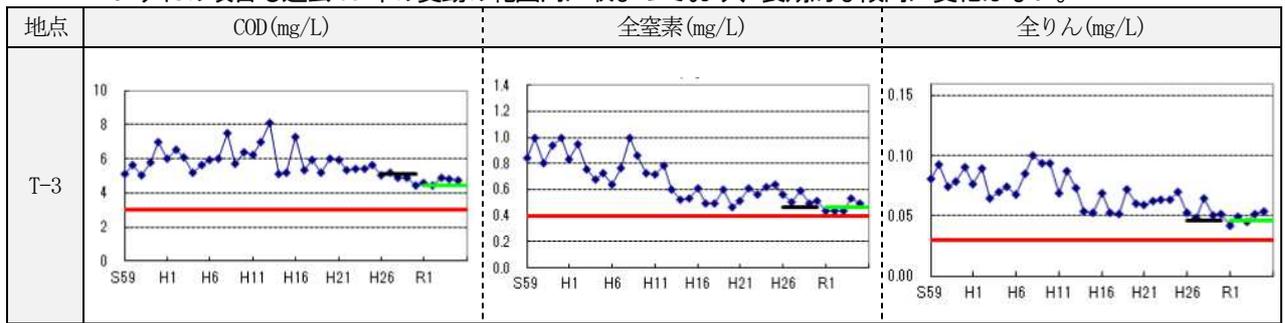
(参考2) 令和5年度結果のイメージ

●：計画目標値未達成 ●：計画目標値達成



### (参考3) 水質目標未達成地点の経年変化

- ・令和5年度は、米子湾中央部（T-3）でCOD、全窒素、全りん の三項目とも未達成であった。しかし、いずれの項目も過去10年の変動の範囲内に収まっており、長期的な傾向に変化はない。

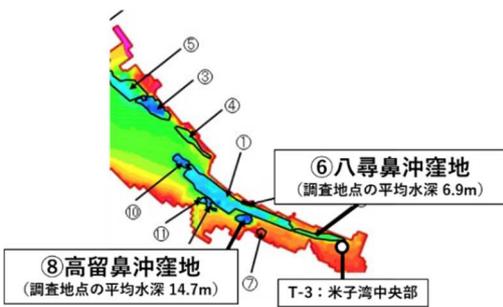


■ : 水質目標値 (COD 5.1/全窒素 0.46/全りん 0.046) (H26~H30)  
 ■ : 水質目標値 (COD 4.4/全窒素 0.46/全りん 0.046) (R1~R5)  
 ■ : 環境基準 (COD 3.0/全窒素 0.40/全りん 0.030)

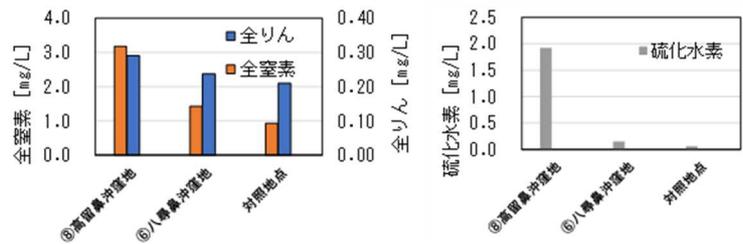
いずれの項目も長期的に改善傾向

## 2 令和5年度水質流動会議報告事項

### <湖内対策の調査研究> 米子湾窪地の実態調査



【米子湾窪地の調査地点位置図】

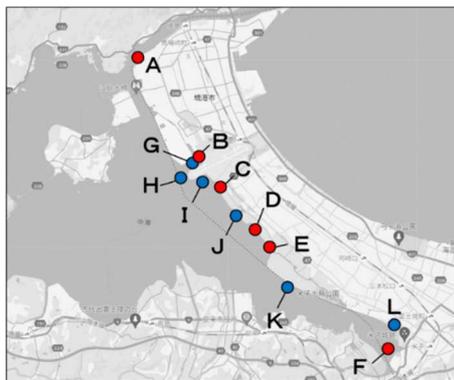


【窪地中（水質）の全窒素、全りん、硫化水素の濃度（R4~R5年度（4回測定）の平均値）】

### <調査結果>

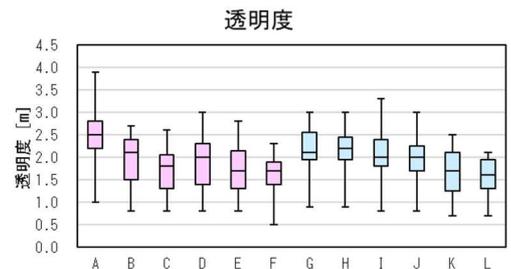
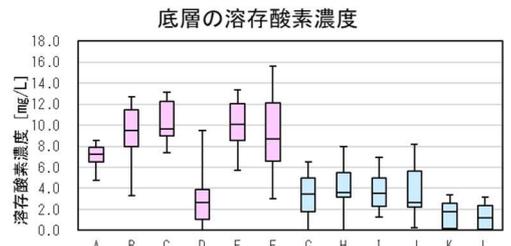
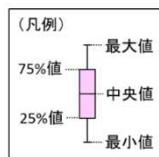
全窒素、全りん及び硫化水素の濃度は、窪地内部において、特に水深が深い高留鼻沖窪地において高くなる傾向がみられた。

### <沿岸域の水質調査> 新たな評価指標の検討に向けた調査



【調査地点の位置図】

	調査地点	水深 (m)
● 浅場	A	4.9 ~ 5.9
	B	2.6 ~ 3.2
	C	1.6 ~ 2.7
	D	3.7 ~ 6.5
	E	1.6 ~ 3.5
	F	2.2 ~ 3.0
● 常時監視地点	G	4.6 ~ 7.2
	H	6.5 ~ 7.5
	I	8.2 ~ 8.9
	J	7.2 ~ 7.9
	K	6.7 ~ 9.9
	L	5.3 ~ 5.9



【調査地点における底層の溶存酸素濃度と透明度（令和5年9月から令和6年3月）】

### <調査結果>

底層の溶存酸素濃度は水深が浅い地点の方が、透明度は北の地点の方が、それぞれ高くなる傾向がみられた。

# 鳥取港千代地区に造成した土地の分譲開始について

令和6年11月29日  
港 湾 課

鳥取港で事業活動を希望する者を対象として、同港千代地区に造成した分譲地の購入希望者の公募を開始しました。

## 1 分譲地の概要

### (1) 面積及び価格

地番	面積	価格
鳥取市港町13番16	981 m <sup>2</sup>	10,496,700 円

### (2) 位置



## 2 分譲地購入者の決定方法

### (1) 資格審査項目

主に以下の項目により資格審査を実施する。

- ・土地利用計画が分区条例に基づく構築物規制等の規則等に反しないこと。
- ・分譲地を購入した上で事業を継続できる資力を有すること。
- ・鳥取港を利用した物流を基に自社事業を実施していること。又は、概ね3年以内に鳥取港を利用する物流を開始し、それを基に自社事業を実施すること。

### (2) 評価項目

土地利用計画書を学識経験者等が評価、採点し、得られた得点が高い者から優先的に本分譲地の購入を交渉する。

評価項目	評価の視点
鳥取港の荷役利用実績及び予定	本分譲地での事業実施を通じた、鳥取港を利用する物流量の増加見込量による評価
本県の産業振興への寄与	鳥取港圏域に所在する事業者との受発注拡大や共同事業の実施などを通じた、本県の産業振興への寄与による評価
購入理由等の妥当性	本分譲地の選定理由やその他の優れた取組による評価
環境への配慮	周辺環境との調和や景観への配慮による評価
新規正規雇用の創出	県民の雇用確保等への貢献による評価

### (3) 公募期間

令和6年11月15日（金）から同年12月5日（木）まで土地購入申請書の受付を実施する。

## 3 今後の予定

今回の公募への応募状況等を踏まえて、残りの土地の分譲実施を引き続き検討していく。

# 境港の特定利用港湾の候補選定について

令和6年11月29日  
港 湾 課

境港の特定利用港湾の候補選定について、令和6年10月7日に国関係機関から港湾管理者である境港管理組合及び関係自治体に対し説明がありましたので報告します。

## 1 経緯

- ・国は総合的な防衛体制の強化の一環として、自衛隊・海上保安庁が、平素から必要に応じて空港・港湾を円滑に利用できるよう、「特定利用空港・港湾」の指定を進めている。
- ・今般、境港が特定利用港湾の候補となり、関係省庁と港湾管理者の間で港湾施設の「円滑な利用に関する確認事項」を取り交わしたいとの申し入れがあった。
- ・「特定利用空港・港湾」においては、「民生利用を主としつつ、自衛隊・海上保安庁の艦船・航空機の円滑な利用にも資するよう、必要な整備又は既存事業の促進を図る」とされている。

## 2 港湾管理者及び関係自治体に対する国からの説明（令和6年10月7日）

<国 機 関>内閣官房、国土交通省、防衛省

<境港関係>境港管理組合（港湾管理者）、鳥取県、島根県、境港市、松江市

- ・本取組は有事（武力攻撃事態や予測事態）の際の利用を対象としたものではない。
- ・新たに自衛隊の基地等を設置するものではなく、年数回程度の訓練が想定される。
- ・境港の選定理由は、周辺に自衛隊の部隊（米子、出雲駐屯地及び美保基地）が存在しており、艦船等が利用可能な港湾施設の整備が一定程度進んでいること。

【国民保護・災害派遣利用のイメージ】



住民避難のイメージ  
(国民保護共同訓練より)



被災者等空輸のイメージ  
(防衛省災害対処に係る訓練より)



救援物資・車両の搭載  
(防衛省災害派遣時の写真)

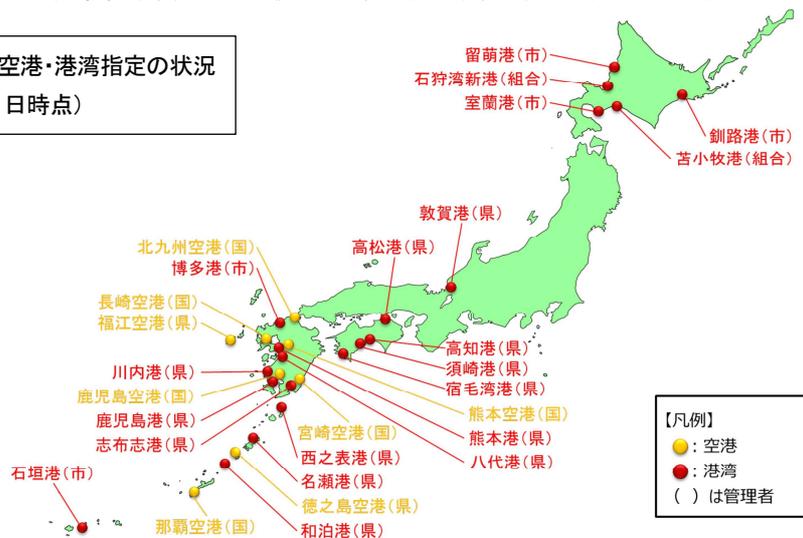


被災地での給水支援  
(海上保安庁災害対応の写真)

## 3 全国の特定利用空港・港湾指定の状況

- ・令和6年8月26日時点で特定利用港湾・空港は10道県の20港湾・8空港が指定されている。
- ※R6. 8月に福井県（敦賀港）、熊本県（熊本港、八代港）、鹿児島県の9港湾・3空港が追加指定された。

全国の特定利用空港・港湾指定の状況  
(令和6年8月26日時点)



## 4 今後の予定

- ・境港管理組合が、関係自治体（鳥取県、島根県、境港市、松江市）及び港湾利用者（主要荷主、港湾運送事業者、漁協等）に特定利用港湾に関する情報共有を行い、懸念事項や要望を取りまとめ、国関係機関の対応方針を確認する。
- ・境港管理組合が、関係自治体及び港湾利用者等の意見を踏まえ、今年度末を目途に特定利用港湾指定に関する確認書の締結の可否について港湾管理者の意向を回答する。

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	入札方式
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	春谷川砂防災害復旧工事(R5年災335号、336号及び337号)	鳥取市 佐治町 春谷	北村屋木材株式会社 代表取締役 有田 繁博	143,990,000円 (予定価格) 144,063,700円	令和6年9月9日 ～ 令和7年3月14日	令和6年9月9日	制限付 一般競争入札 (2社)
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	佐治川河川災害復旧工事(R5年災148号)	鳥取市 佐治町 古市	有限会社中信建設 代表取締役 中村 砂雄	174,350,000円 (予定価格) 190,416,600円	令和6年9月10日 ～ 令和7年3月14日	令和6年9月10日	制限付 一般競争入札 (6社)
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	佐治川河川外災害復旧工事(R5年災133号、134号、138号及び380号)	鳥取市 佐治町 加茂外	株式会社トラスト 代表取締役 倉持 崇広	110,770,000円 (予定価格) 110,770,000円	令和6年9月27日 ～ 令和7年3月14日	令和6年9月27日	制限付 一般競争入札 (1社)
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	佐治川河川外災害復旧工事(R5年災143号及び381号)	鳥取市 佐治町 余戸	株式会社武晃建設 代表取締役 山根 千鶴子	111,980,000円 (予定価格) 121,996,600円	令和6年10月30日 ～ 令和7年3月14日	令和6年10月30日	制限付 一般競争入札 (4社)
技術企画課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	天神川河川災害復旧工事(5年災283号)	東伯郡 三朝町 赤松	株式会社チュウブ 代表取締役社長 小柴 雅央	96,800,000円 (予定価格) 100,287,000円	令和6年10月8日 ～ 令和7年3月14日	令和6年10月8日	制限付 一般競争入札 (1社)
道路企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	県道八日市釜口線(八日市橋)耐震補強工事(2工区)(補助橋補修)	鳥取市 河原町 八日市	株式会社栗山組 代表取締役社長 栗山 和大	104,170,000円 (予定価格) 114,050,200円	令和6年9月9日 ～ 令和7年3月14日	令和6年9月9日	制限付 一般競争入札 (4社)

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方式
道路企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	県道三代寺宮下線(中郷橋)橋梁下部工事(2工区)(補助交安)	鳥取市 国府町 町屋	株式会社原田建設 代表取締役 原田 實	182,050,000円 (予定価格) 199,177,000円	令和6年9月19日 ～ 令和7年8月4日	令和6年9月19日	制限付 一般競争入札 (3社)
道路企画課 〔西部総合事務所 米子県土整備局〕	国道181号(佐川～根雨原工区)護岸工事(1工区)(防災安全交付金)	西伯郡 伯耆町 根雨原	美保テクノス株式会社 代表取締役社長 野津 健市	122,100,000円 (予定価格) 131,789,900円	令和6年10月17日 ～ 令和7年3月14日	令和6年10月16日	制限付 一般競争入札 (5社)
道路建設課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	国道179号(はわいバイパス)改良工事(2工区)(補助改良)	東伯郡 湯梨浜町 はわい長瀬	株式会社クラエー 代表取締役 西村 博文	96,580,000円 (予定価格) 104,974,100円	令和6年9月24日 ～ 令和7年3月14日	令和6年9月24日	制限付 一般競争入札 (2社)
道路建設課 〔西部総合事務所 日野県土整備局〕	国道181号(江府道路)俣野地区道路改良工事(12工区)(補助改良)(国補正)	日野郡 江府町 俣野外	株式会社かわばた 代表取締役社長 中尾 仁	93,280,000円 (予定価格) 101,035,000円	令和6年10月21日 ～ 令和7年3月14日	令和6年10月21日	制限付 一般競争入札 (4社)
河川課 〔鳥取県土整備事務所〕	日置川河川改修工事(11工区)	鳥取市 青谷町 青谷	YAHATA株式会社 代表取締役 中山 忠雄	139,370,000円 (予定価格) 151,743,900円	令和6年10月1日 ～ 令和7年3月21日	令和6年10月1日	制限付 一般競争入札 (4社)
河川課 〔鳥取県土整備事務所〕	佐治川ダム堰堤改良工事(洪水放流設備改良)(1期工事)	鳥取市 佐治町 尾際	株式会社大和エンジニアリング 代表取締役 後藤 浩美	175,560,000円 (予定価格) 175,923,000円	令和6年10月2日 ～ 令和8年3月13日	令和6年10月2日	制限付 一般競争入札 (1社)

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方式
河川課 〔八頭県土整備事務所〕	私都川(延命寺工区)河川災害関連工事(5年災232号)(3工区)	八頭郡八頭町別府	株式会社松田組 代表取締役 松田 義正	106,480,000円 (予定価格) 115,755,200円	令和6年10月7日 ～ 令和7年3月14日	令和6年10月7日	制限付 一般競争入札 (5社)
河川課 〔八頭県土整備事務所〕	私都川(麻生工区)河川災害関連工事(5年災241号)(1工区)	八頭郡八頭町麻生	中一建設株式会社 代表取締役 中尾 仁	100,320,000円 (予定価格) 108,849,400円	令和6年10月9日 ～ 令和7年3月14日	令和6年10月9日	制限付 一般競争入札 (5社)
河川課 〔八頭県土整備事務所〕	私都川(麻生工区)河川災害関連工事(5年災243号及び244号)(2工区)	八頭郡八頭町麻生	株式会社八田建設 代表取締役 八田 光義	95,040,000円 (予定価格) 103,550,700円	令和6年10月9日 ～ 令和7年3月14日	令和6年10月9日	制限付 一般競争入札 (5社)
治山砂防課 〔鳥取県土整備事務所〕	北村地区災害関連緊急治山工事	鳥取市河原町北村	株式会社大晃工業 代表取締役 高田 重利	168,520,000円 (予定価格) 180,634,300円	令和6年9月11日 ～ 令和7年3月24日	令和6年9月11日	制限付 一般競争入札 (3社)
港湾課 〔鳥取港湾事務所〕	鳥取港第2防波堤延伸工事(1工区)(交付金)	鳥取市港町	東洋建設株式会社山陰営業所 所長 吉田 涼	136,400,000円 (予定価格) 147,220,700円	令和6年9月6日 ～ 令和7年2月12日	令和6年9月6日	制限付 一般競争入札 (2社)
港湾課 〔鳥取港湾事務所〕	鳥取港第2防波堤延伸工事(2工区)(交付金)	鳥取市港町	YAHATA株式会社 代表取締役 中山 忠雄	102,190,000円 (予定価格) 111,064,800円	令和6年9月25日 ～ 令和7年3月14日	令和6年9月25日	制限付 一般競争入札 (2社)

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	曳田川河川災害復旧工事(R5年災43号(1工区))	鳥取市 河原町 北村	有限会社プロジェクト 代表取締役 岡田 竜美	(当初契約額) 100,100,000円	令和6年1月10日 ～ 令和6年9月12日	(当初契約年月日) 令和6年1月10日	-
					(変更後工期) 令和6年12月11日	(第1回変更契約年月日) 令和6年9月10日	近接工事との工程調整に係る遅延による工期の延伸
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	佐治川ダム災害復旧工事(応急5工区)	鳥取市 佐治町 尾際	有限会社プロテクト 代表取締役 岸野 忍	(当初契約額) 148,390,000円	令和6年3月25日 ～ 令和6年12月12日	(当初契約年月日) 令和6年3月25日	-
				(第1回変更後契約額) 207,010,100円 (変更額) 〔58,620,100円〕		(第1回変更契約年月日) 令和6年9月25日	場内仮置き土砂の搬出量の増による工事費の増
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	県道郡家鹿野気高線道路災害復旧工事(R5年災360号)	鳥取市 岩坪	株式会社藤原組 取締役社長 藤原 正	(当初契約額) 104,060,000円	令和6年1月16日 ～ 令和6年10月7日	(当初契約年月日) 令和6年1月16日	-
				(第1回変更後契約額) 121,543,400円 (変更額) 〔17,483,400円〕		(第1回変更契約年月日) 令和6年10月4日	路体盛土材について、当初現地発生土の流用を想定していたが、軟弱のため改良の必要があったことから、セメントによる安定処理を行ったこと等による工事費の増
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	荒舟川砂防災害復旧工事(R5年災324号(1工区))	鳥取市 国府町 荒舟	株式会社創美 代表取締役 田村 徹	(当初契約額) 89,540,000円	令和6年3月8日 ～ 令和6年11月11日	(当初契約年月日) 令和6年3月8日	-
				(第1回変更後契約額) 109,931,800円 (変更額) 〔20,391,800円〕	(変更後工期) 令和7年3月17日	(第1回変更契約年月日) 令和6年10月17日	・測量作業の効率化を図るため、ICT測量の採用による工事費の増 ・関係機関(水道)との調整に時間を要したことによる工期の延伸

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	佐治川河川外災害復旧工事(R5年災145号、382号)	鳥取市佐治町余戸	株式会社大晃工業 代表取締役 高田 重利	(当初契約額) 92,400,000円	令和6年3月29日 ～ 令和6年11月25日	(当初契約年月日) 令和6年3月29日	-
				(第1回変更後契約額) 96,581,100円 (変更額) 〔4,181,100円〕	(変更後工期) 令和7年2月28日	(第1回変更契約年月日) 令和6年10月24日	・労務単価の運用に係る特例措置に基づき労務単価を変更したこと等による工事費の増 ・河川内作業について出水期中の施工が困難なことから着手時期を見直したことによる工期の延伸
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	国道482号道路災害復旧工事(別府工区)(応急)	鳥取市用瀬町別府	株式会社田中組 代表取締役 田中 弘文	(当初契約額) 179,960,000円	令和5年10月6日 ～ 令和6年3月25日	(当初契約年月日) 令和5年10月6日	-
				(第1回変更後契約額) 248,385,500円 (変更額) 〔68,425,500円〕	(変更後工期) 令和6年10月31日	(第1回変更契約年月日) 令和6年3月22日	・地盤調査の結果、大型ブロックから自立式土留めに変更したこと等による工事費の増 ・変更工法に合わせ、工程見直しを行ったことによる工期の延伸
				(第2回変更後契約額) 278,736,700円 (変更額) 〔30,351,200円〕		(第2回変更契約年月日) 令和6年10月25日	施工時に想定外に硬質な層が確認され、先行杭による掘削が必要となったことによる工事費の増
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	曳田川河川災害復旧工事(R5年災90号、91号及び199号)	鳥取市河原町中井外	北村屋木材株式会社 代表取締役 有田 繁博	(当初契約額) 107,250,000円	令和6年1月16日 ～ 令和6年9月18日	(当初契約年月日) 令和6年1月16日	-
					(変更後工期) 令和6年10月30日	(第1回変更契約年月日) 令和6年9月18日	資材の納入遅延による工期の延伸
				(第2回変更後契約額) 107,662,500円 (変更額) 〔412,500円〕		(第2回変更契約年月日) 令和6年10月28日	民間残土受入地の処分費改訂による工事費の増

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	佐治川河川災害復旧工事(R5年災150号、212号)	鳥取市用瀬町別府	大和建设株式会社 取締役社長 影井 一清	(当初契約額) 152,130,000円	令和6年2月9日 ～ 令和6年10月28日	(当初契約年月日) 令和6年2月9日	-
					(変更後工期) 令和6年12月25日	(第1回変更契約年月日) 令和6年10月28日	農地災害復旧工事との工程調整に伴う工期の延伸
技術企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	袋川河川災害復旧工事(R5年災120号(3～7工区))	鳥取市国府町雨滝	吉田建設株式会社 代表取締役 吉田 友和	(当初契約額) 134,860,000円	令和6年2月15日 ～ 令和6年10月29日	(当初契約年月日) 令和6年2月15日	-
				(第1回変更後契約額) 150,676,900円 (変更額) 〔15,816,900円〕	(変更後工期) 令和6年12月27日	(第1回変更契約年月日) 令和6年10月29日	・他工事との調整不調に伴う流用土から購入土への変更による工事費の増 ・地元関係者(用水関係)との調整による工期の延伸
技術企画課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	天神川河川災害復旧工事(5年災285号)	東伯郡三朝町助谷	株式会社クラエー 代表取締役 西村 博文	(当初契約額) 100,320,000円	令和6年1月26日 ～ 令和6年9月27日	(当初契約年月日) 令和6年1月26日	-
				(第1回変更後契約額) 104,724,400円 (変更額) 〔4,404,400円〕	(変更後工期) 令和7年3月31日	(第1回変更契約年月日) 令和6年9月26日	・伐木量が当初想定より増えたことによる工事費の増 ・伐木量が増えたこと及び出水期間の工事を中止したことによる工期の延伸
技術企画課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	加谷川河川災害復旧工事(5年災288号)	東伯郡三朝町穴鴨	株式会社重道組 代表取締役 重道 利恵子	(当初契約額) 104,830,000円	令和6年2月26日 ～ 令和6年11月1日	(当初契約年月日) 令和6年2月26日	-
					(変更後工期) 令和7年3月14日	(第1回変更契約年月日) 令和6年10月16日	出水期間の工事を中止したことによる工期の延伸

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路企画課 〔鳥取県土整備事務所〕	県道三代寺宮下線(中郷・町屋工区)改良工事(2工区)(補助交安)	鳥取市 国府町 町屋外	吉田建設株式会社 代表取締役 吉田 友和	(当初契約額) 89,100,000円	令和6年1月25日 ～ 令和6年10月1日	(当初契約年月日) 令和6年1月25日	-
				(第1回変更後契約額) 120,759,100円 (変更額) 〔 31,659,100円〕	(変更後工期) 令和6年11月1日	(第1回変更契約年月日) 令和6年8月30日	・仮橋の橋台工設置時に床掘が必要となるが、土質が想定より軟弱であったことから現道に影響が生じないように仮設土留工を追加したこと等による工事費の増 ・関係機関との調整による工期の延伸
					(変更後工期) 令和6年12月2日	(第2回変更契約年月日) 令和6年10月31日	関係機関との調整による工期の延伸
道路建設課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	国道313号(倉吉関金道路)改良工事(福山工区)(45工区)(補助改良)	倉吉市 福山	株式会社チュウブ 代表取締役社長 小柴 雅央	(当初契約額) 108,460,000円	令和6年1月10日 ～ 令和6年9月30日	(当初契約年月日) 令和5年12月19日	-
				(第1回変更後契約額) 118,303,900円 (変更額) 〔 9,843,900円〕	(変更後工期) 令和7年3月14日	(第1回変更契約年月日) 令和6年9月27日	・舗装工事にICT施工を活用したこと等による工事費の増 ・関連工事との調整による工期の延伸
道路建設課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	県道倉吉由良線(和田～大谷茶屋工区)改良工事(10工区)(ゼロ県債)	倉吉市 和田 ～ 大谷茶屋	株式会社クラーエー 代表取締役 西村 博文	(当初契約額) 96,690,000円	令和6年2月16日 ～ 令和6年11月1日	(当初契約年月日) 令和6年1月26日	-
					(変更後工期) 令和7年2月20日	(第1回変更契約年月日) 令和6年10月30日	関連工事との調整による工期の延伸

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
河川課 〔鳥取県土整備事務所〕	浜村川河川改修工事(護岸工)	鳥取市 鹿野町 岡木	株式会社大晃工業 代表取締役 高田 重利	(当初契約額) 118,580,000円	令和5年8月25日 ～ 令和6年3月15日	(当初契約年月日) 令和5年8月25日	-
				(第1回変更後契約額) 117,335,900円 (変更額) 〔△1,244,100円〕	(変更後工期) 令和6年10月25日	(第1回変更契約年月日) 令和6年3月13日	・隣接工事との調整により施工延長を短くしたことによる工事費の減 ・上記に伴い仮設鋼矢板の準備等の追加期間を要するほか、田んぼ取水の機能復旧を行うことによる工期の延伸
				(第2回変更後契約額) 84,299,600円 (変更額) 〔△33,036,300円〕		(第2回変更契約年月日) 令和6年7月30日	工事用道路の使用にあたり関係機関との調整を行った結果、継続的利用が不可能となったことから、一部区間の施工を取りやめたことによる工事費の減
				(第3回変更後契約額) 99,052,800円 (変更額) 〔14,753,200円〕		(第3回変更契約年月日) 令和6年10月10日	工程調整の結果、農業用水の送水期間が延長となったことによる工事費の増
河川課 〔鳥取県土整備事務所〕	日置川河川改修工事(10工区)(国補正)	鳥取市 青谷町 青谷	株式会社原田建設 代表取締役 原田 實	(当初契約額) 95,920,000円	令和6年3月6日 ～ 令和6年10月31日	(当初契約年月日) 令和6年3月6日	-
						(第1回変更契約年月日) 令和6年4月10日	契約約款の改正に伴う変更
				(第2回変更後契約額) 101,037,200円 (変更額) 〔5,117,200円〕	(変更後工期) 令和7年2月14日	(第2回変更契約年月日) 令和6年10月30日	事業の進捗を図るため、施工区間を延伸したことによる工事費の増及び工期の延伸

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
治山砂防課 〔西部総合事務所 米子県土整備局〕	三部地区急傾斜地崩壊 対策工事(5工区)(補助) (国補正)	西伯郡 伯耆町 三部	イワタ建設株式会社 代表取締役 岩田 義美	(当初契約額) 54,780,000円	令和6年2月21日 ～ 令和6年9月25日	(当初契約年月日) 令和6年2月20日	-
				(第1回変更後契約額) 105,305,200円 (変更額) 〔 50,525,200円〕		(第1回変更契約年月日) 令和6年9月12日	掘削箇所周辺が狭小なため土砂仮置 場までの小運搬を追加すること、交通 誘導員の配置を追加したこと等による 工事費の増
治山砂防課 〔西部総合事務所 日野県土整備局〕	宮ノ谷川砂防堰堤工事 (堰堤工)(国補正)	日野郡 日南町 福寿実	サワタ建設株式会社 代表取締役 澤田 信介	(当初契約額) 90,530,000円	令和6年2月14日 ～ 令和6年10月21日	(当初契約年月日) 令和6年2月14日	-
				(第1回変更後契約額) 105,912,400円 (変更額) 〔 15,382,400円〕	(変更後工期) 令和6年12月27日	(第1回変更契約年月日) 令和6年10月4日	事業効果の早期発現を図るため、コン クリート堰堤工の打設範囲を拡大し たことによる工事費の増
港湾課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	石脇港海岸離岸堤修繕 工事(4工区)(国補正)	東伯郡 湯梨浜町 泊	株式会社井木組 代表取締役 井木 敏晴	(当初契約額) 95,700,000円	令和6年3月28日 ～ 令和6年10月24日	(当初契約年月日) 令和6年3月28日	-
				(第1回変更後契約額) 113,273,600円 (変更額) 〔 17,573,600円〕		(第1回変更契約年月日) 令和6年10月18日	当初想定より砂が堆積していたため、 掘削量が増加したことによる工事費 の増
港湾課 〔鳥取港湾事務所〕	鳥取港第2防波堤延伸工 事(仮置マウンド)(交付 金)	鳥取市 港町 地先	YAHATA株式会社 代表取締役 中山 忠雄	(当初契約額) 99,000,000円	令和6年3月12日 ～ 令和6年10月7日	(当初契約年月日) 令和6年3月11日	-
				(第1回変更後契約額) 105,741,900円 (変更額) 〔 6,741,900円〕		(第1回変更契約年月日) 令和6年9月3日	令和6年3月から適用する労務単価の 特例措置及びICT活用工事に伴う増 額

## 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
港湾課 (鳥取港湾事務所)	鳥取港災害復旧応急工事(航路浚渫)	鳥取市 港町 地先	株式会社伊藤組鳥取営業所 所長 土肥 浩一	(当初契約額) 139,150,000円	令和5年10月3日 ～ 令和5年11月30日	(当初契約年月日) 令和5年10月3日	-
					(変更後工期) 令和6年3月25日	(第1回変更契約年月日) 令和5年11月28日	10月以降の海象条件が悪く、作業日数が確保できなかったことによる工期の延伸
					(変更後工期) 令和6年7月31日	(第2回変更契約年月日) 令和6年3月22日	海象条件が悪く海上作業を行うことができなかったことによる工期の延伸
					(変更後工期) 令和6年10月31日	(第3回変更契約年月日) 令和6年7月30日	貨物船等の入出港時に作業船を一時退避及び待機する必要が生じ浚渫作業ができなかったことによる工期の延伸
					(変更後工期) 令和7年3月25日	(第4回変更契約年月日) 令和6年10月29日	海象条件が悪く海上作業を行うことができなかったことによる工期の延伸